

長岡京市地球温暖化対策実行計画

アース
～持続可能な未来プラン～

【概要版】

“環境の都”長岡京市環境都市宣言

西山の自然に恵まれ、悠次の歴史が刻まれた長岡京市。
緑と水に恵まれ、多くの命が育まれてきました。
しかし、私たちが自然への畏敬と感謝を忘れ、物質的な豊かさを求め続けた結果、温暖化をはじめ、地球規模で様々な環境の悪化が進んでいます。
人類は、自然の一部であり、自然との共生によってのみ存続が可能です。
これを踏まえ、私たち長岡京市民は、自然と共生する持続可能な社会を目指し、世代を超えた市民と企業や団体等との協働により、生活様式や、社会のあり方そのものを見直し、未来の子どもたちが心から豊かさを得られる“環境の都”長岡京の実現が、今の私たちに課せられた責務です。
私たちが長岡京市民は、先人の歴史と教訓に学び、あらゆる人々と手を携え、真に環境都市として誇れるまちづくりに取り組む決意をここに宣言します。

平成21年4月1日



平成 23 年 3 月

京都府長岡京市

計画策定の趣旨の背景

今から1200年余り前に都があった長岡京市は、今日においても西山の自然に抱かれ、水と緑に恵まれた環境と歴史と人々の賑いあるまちとして発展しています。

本市は、平成21年4月“古^{いにしへ}の都”から“環境の都”を目指して「環境の都」長岡京市環境都市宣言を行いました。豊かな自然を未来の子どもたちへ引き継ぎ、自然と共生する持続可能な社会を目指して、市民、企業、諸団体と行政が協働して、真に環境都市として誇れるまちづくりに取り組む決意をしました。

21世紀は、環境の世紀と言われています。本市にあっても、平成23年度から始まる総合計画の第3期基本計画において、人と自然が共生する環境保全型社会の形成や緑豊かな環境づくりを政策課題として掲げ、①地球環境の保全、②循環型社会づくりの推進、③廃棄物の適正管理・処理、④快適な生活環境の実現、⑤自然環境の保全、⑥都市緑化の推進を施策として様々な事業に取り組もうとしています。

このような状況にあって長岡京市は、環境都市宣言に基づくまちづくりを理念として、法律上は人口20万人以上の都市に義務付けられている「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に率先して取り組み、地域特性を生かした地球温暖化対策を推進することとしました。

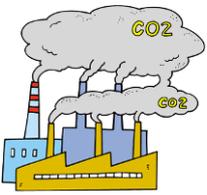
実行計画の基本的事項

【計画の期間】：2011（平成23）年度から2030（平成42）年度までの20年間

【目標年度等】 基準年度：1990年度 現況年度：2007年度

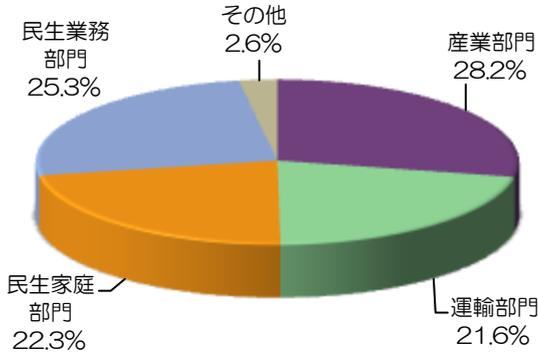
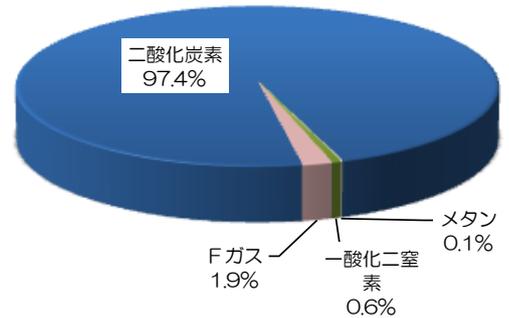
目標年度：2030年度（中間：2020年度）

【対象物質】：対象ガスは以下の6ガス。二酸化炭素の対象部門は以下の4部門。

温室効果ガスの種類		長岡京市における排出の原因			
二酸化炭素（CO ₂ ）		石油や石炭などの化石燃料の燃焼、廃棄物の焼却等に伴って排出されます。産業、運輸、家庭、オフィス等さまざまなところから排出されます。			
	[産業部門] 農林水産業、建設業、鉱業、製造業 	[運輸部門] 自動車（トラック、バス、タクシー、マイカー）、鉄道 	[民生家庭部門] 一般家庭 	[民生業務部門] 事務所・ビル、デパート・スーパー、卸小売、飲食店、学校、ホテル・旅館、病院等 	
メタン（CH ₄ ）		各種燃焼設備、自動車排出ガス、水田などから排出されます。			
一酸化二窒素（N ₂ O）		各種燃焼設備、自動車排出ガス、病院、窒素肥料の施用などから排出されます。			
F ガ ス	ハイドロフルオロカーボン（HFC）	カーエアコンや冷蔵庫の冷媒などから排出されます。			
	パーフルオロカーボン（PFC）	半導体の製造工程や電子部品の精密洗浄時に排出されます。			
	六ふっ化硫黄（SF ₆ ）	主に電力絶縁ガスとして電源設備などから排出されます。			

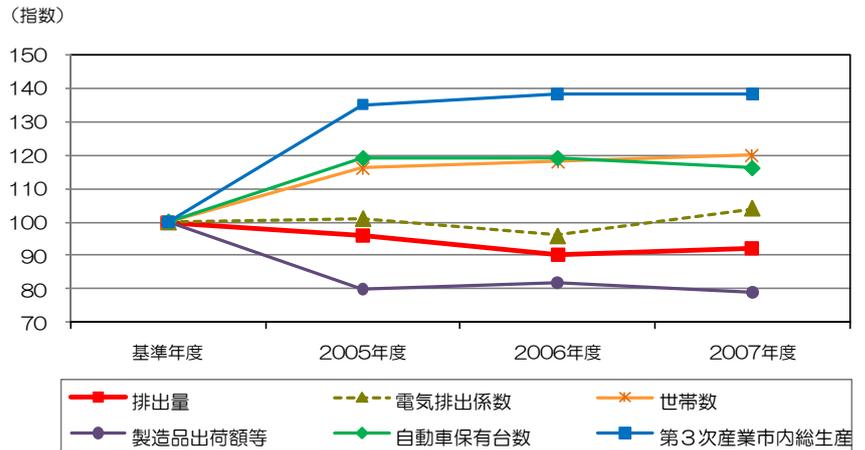
排出量の現況・将来予測

【ガス種別排出量】本市の現況（2007）年度排出量は 431 千 t-CO₂ です。ガス種別別排出構成比をみると、二酸化炭素が 97.4%と大部分を占めており、全国の二酸化炭素の排出割合（95.0%）より 2.4ポイント高くなっています。



【部門別排出量】本市の部門別排出構成比をみると、産業部門が 28.2%と最も高く、次いで民生業務部門 25.3%、民生家庭部門 22.3%、運輸部門 21.6%、その他 2.6%となっています。全国の排出構成比は産業部門 34.2%、運輸部門 17.9%、民生業務部門 17.7%、その他 17.1%、民生家庭部門 13.1%となっています。

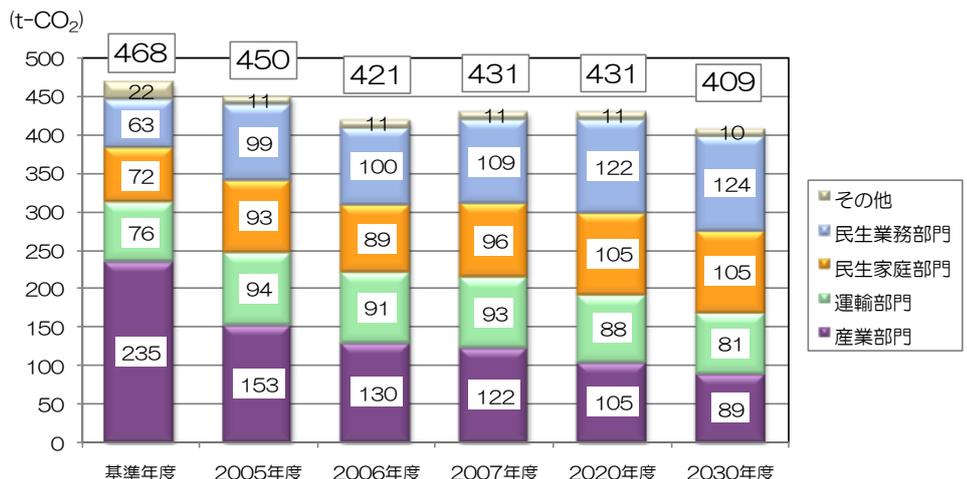
【関連指標の推移】基準（1990）年度からの排出量関連指標の推移をみると、産業部門に関連の強い製造品出荷額等は産業部門排出量と同様に大きく減少しています。民生家庭部門と関連のある世帯数、民生業務部門と関連のある第3次産業市内総生産は、ともに増加傾向にあり、排出量の増加と強い相関を示しています。運輸部門と関連の強い自動車保有台数は 2005 年度からやや減少しており、運輸部門排出量と同様の変動を示しています。



【現状排出量・将来予測】将来排出量は、2020（平成 32）年度が 431 千 t-CO₂、2030（平成 42）年度が 409 千 t-CO₂と推計されます。最終目標である 2030（平成 42）年度には、基準年度と比較して、産業部門が 146 千 t-CO₂（62.1%）、その他が 12 千 t-CO₂（54.5%）減少し、逆に、運輸部門が 5 千 t-CO₂（6.6%）、民生家庭部門が 33 千 t-CO₂（45.8%）、民生業務部門が 61 千 t-CO₂（96.8%）増加すると予想されるので、合計では 59 千 t-CO₂（12.6%）減少すると考えられます。

【将来の伸び率】

区分		伸び率(倍)	
		2020年	2030年
産業	農林水産業	0.863	0.720
	建設業・鉱業	0.912	0.783
	製造業	0.863	0.729
運輸	乗用車	0.970	0.900
	貨物車	0.912	0.819
	鉄道	1.028	0.981
民生家庭部門		1.096	1.098
民生業務部門		1.116	1.134
メタン		0.980	0.909
一酸化二窒素		0.980	0.909
Fガス		0.980	0.909



※伸び率は現況（2007）年度からの伸び率

長岡京市の削減目標

排出量の現状及び推移を踏まえ、長岡京市の削減目標は、1990（基準）年度比で、2020年度までに25%減、2030年度までに40%減とします。

長岡京市の温室効果ガス削減目標

2020年度までに1990年度より **25%削減**
 2030年度までに1990年度より **40%削減**

【2020年度の削減量】

【2030年度の削減量】

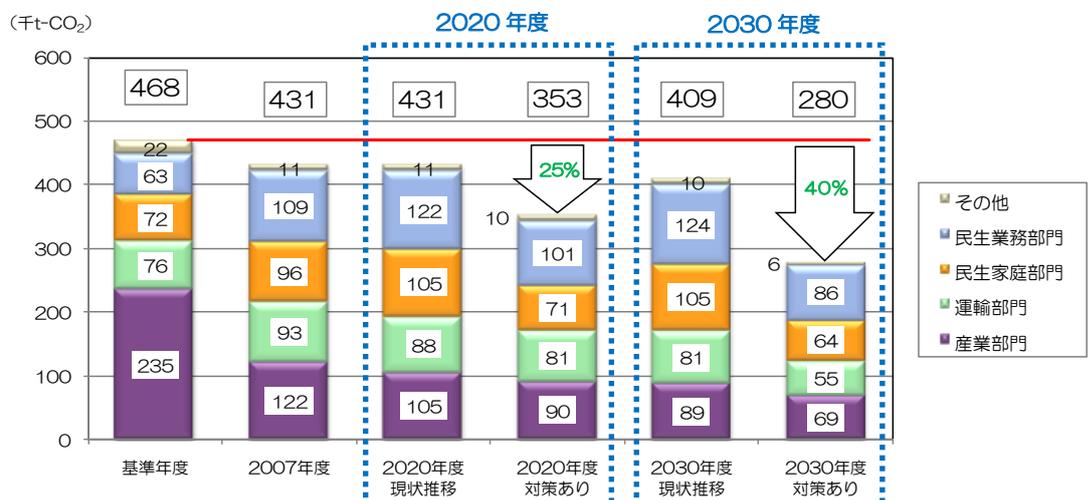
部門	削減対策	削減量 (千t-CO ₂)
産業部門	省エネ・省CO ₂ 機器及び技術の導入	2.8
運輸部門	低公害車の導入 エコドライブの推進 自動車保有台数の自然減少	5.4
民生家庭部門	省エネ家電製品や省エネ型ガス機器の導入 住宅の省エネ化 効率の良い住宅設備の導入 太陽光発電システムの設置 省エネ行動、エコライフ等の実践	20.1
民生業務部門	省エネ・省CO ₂ 型OA機器の導入 建物の省エネ・省CO ₂ 化 太陽光発電システムの設置	7.6
吸収源対策	西山の間伐等森林整備 農地の保全	0.4
再生可能エネルギーの利用	太陽熱温水器の設置等	0.1
排出係数の低減	2007年度0.366kg-CO ₂ /kWhからの削減分	40.8
その他	二酸化炭素対策に伴い、その他の温室効果ガスの削減	0.7
合計		77.9

部門	削減対策	削減量 (千t-CO ₂)
産業部門	省エネ・省CO ₂ 機器及び技術の導入 太陽光発電システムの設置 バイオ燃料の普及	11.3
運輸部門	電気自動車・ハイブリッド車の普及拡大 バイオ燃料の普及 エコドライブの推進 自動車保有台数の自然減少	24.6
民生家庭部門	省エネ家電製品・省エネ型ガス機器の導入 住宅の省エネ化 効率の良い住宅設備の改善強化 太陽光発電システムの設置 バイオ燃料の普及 省エネ行動、エコライフ等の実践	28.7
民生業務部門	省エネ・省CO ₂ 型OA機器の効率改善強化 建物の省エネ・省CO ₂ 化 太陽光発電システムの設置 バイオ燃料の普及	26.4
吸収源対策	西山の間伐等森林整備 農地の保全	0.4
排出係数の低減	2007年度0.366kg-CO ₂ /kWhからの削減分	33.9
その他	二酸化炭素対策に伴い、その他の温室効果ガスの削減	4.0
合計		129.3

【削減目標】

2020年度において、現状推移排出量から77.9千t-CO₂削減し、基準（1990）年度比25%減を目指すこととします。

また、2030年度において、現状推移排出量から129.3千t-CO₂削減し、基準（1990）年度比40%減を目指すこととします。



(注) CO₂ 吸収源対策、再生可能エネルギー等、排出係数低減の削減量は、現状推移排出量の割合に応じて、産業部門、運輸部門、民生家庭部門、民生業務部門に配分しました。

温暖化対策の具体的な取組み

長岡京市では、民生家庭部門と民生業務部門の温室効果ガスの排出量が年々増えています。原因として、家庭部門では、一人世帯の増加や、家電製品の大型化・多様化等が挙げられます。業務部門では、業務用ビルの増加、OA機器の増加・多様化等が考えられます。また、運輸部門は、各家庭での自動車の普及や大型化等が原因と考えられます。産業部門については、経済の落ち込みの影響や、工場の移転等で大幅に削減されているものの、それぞれの事業所の削減量としては、必ずしも十分ではありません。

これらの部門で、効率よく対策を進めるためには、特に排出量に大きく影響する、自動車の利用や電気・ガスの省エネの取組みが必要不可欠です。また、ヒートアイランド現象 対策としてだけでなく、温暖化によると思われる異常気象に対する適応策として、森林が本来の役割を果たせるよう保全していくことも必要です。

これらの観点から、重点的に実施を促進する「市民」「事業者」「団体等」「行政」の行動を「8つの取組み」としました。この取組みを起点とし、さらに多様な施策やそれぞれの環境行動の展開へ広がることを目指します。

長岡京市の8つの取組み

- 取組み1 機器や建築物等の省エネ・省CO₂化
- 取組み2 省エネ行動・エコライフの実践
- 取組み3 循環型社会の形成
- 取組み4 低公害車の利用
- 取組み5 自転車や公共交通機関等の利用
- 取組み6 再生可能エネルギーの導入
- 取組み7 緑化の推進や森林、農地の保全
- 取組み8 環境意識の向上

取組み1 機器や建築物等の省エネ・省CO₂化

市民

- ◆家庭での電気やガスの消費量は、増加傾向にあります。家電製品を新たに購入する際には、省エネラベルを参考に、省エネ・省CO₂効果の高い機器を選び、エネルギーの使用を減らしましょう。
- ◆断熱性の高い素材を用いた住宅を新築・改築したりすることで、エアコン等の使用を控えましょう。

事業者

- ◆事業所での電気やガスの使用量は、増加傾向にあります。OA機器や設備は省エネ・省CO₂型のものを導入し、基礎的なエネルギーの使用を減らしましょう。
- ◆建築物の新築や大規模改修の際には、断熱材や複層窓を用いる等、冷暖房の使用を軽減できるような工夫をしましょう。



行政

- ◆エコストアの活用により、省エネ意識を啓発します。
- ◆「うちエコ診断」や「省エネ診断」の実施を拡大する等環境行動の効果の「見える化」を推進します。
- ◆省エネ・省CO₂機器や設備の購入の際に参考となる「省エネラベル」等の啓発を行うとともに、情報提供のための施策について検討します。
- ◆公共施設においても、機器や建物について、率先して省エネ・省CO₂化に努めます。
- ◆「CASBEE 京都」、「ビルエネルギーマネジメントシステム (BEMS)」や企業向け「省エネ診断」に関する情報提供の方法を検討します。



取組み2 省エネ行動・エコライフの実践

市民

- ◆冷暖房の温度を適切に設定し着るものでできるだけ調節しましょう。
- ◆待機電力を減らすため、コンセントは主電源から消しましょう。
- ◆家庭での温室ガス排出源の多くを占める、入浴や給湯のガス機器の使用については、温度設定や使用時間に注意しましょう。
- ◆エコドライブを行い、温室効果ガスの排出を抑制しましょう。



事業者

- ◆冷暖房の温度を適切に設定したり、昼休みは消灯したりする等、事業所内の省エネ行動に努めましょう。
- ◆環境マネジメントシステム等を導入することで、事務運用の改善点を把握しましょう。



行政

- ◆エコストアを活性化させ、エコポイント制度等の市民が環境行動を実践するための仕組みづくりを検討します。
- ◆市の広報紙等をとおして、省エネ行動・エコライフを促進します。
- ◆事業所に対して、環境マネジメントシステムの導入を促進します。
- ◆エコドライブ推進のため、今後も啓発を行っていきます。



取組み3 循環型社会の推進

市民

- ◆無駄なものやゴミになるものは買わない等、ゴミとして出すものを極力削減するよう努めましょう。
- ◆ゴミの減量、再資源化を推進するため適正な分別に協力しましょう。
- ◆生ゴミは、EM ボカシ等を使用し、出来るだけたい肥化してゴミの減量化を図りましょう。
- ◆古紙等は、地域の自治会・子供会等が行う集団回収に出し、再資源化に努めましょう。

事業者

- ◆廃棄物の分別徹底、減量化に取組み、過剰包装の抑制を図りましょう。
- ◆再生品・グリーン製品の使用に努めましょう。

行政

- ◆減量化対策に資する人材育成、分別指導の徹底等体制整備の検討を行っていきます。
- ◆広報等を通じ、ゴミの減量・適正排出の啓発を図ります。
- ◆エコストアを推進し、マイバッグの推奨、簡易包装等の推進を図ります。
- ◆間伐された木や竹を資源として有効に活用する仕組みについて検討します。
- ◆西山の間伐材を燃料とした薪ストーブ等の普及・啓発を行います。



取組み4 低公害車の利用

市民

- ◆家庭で新たに自家用車を購入する際は、電気自動車やハイブリッド車等、ガソリンをあまり使わない車を選び、温室効果ガスの排出を減らすようにしましょう。

事業者

- ◆新たに社用車等を購入する際は、電気自動車やハイブリッド車等、ガソリンをあまり使用しない車を選び、温室効果ガスの削減に努めましょう。



行政

- ◆市の広報紙等をとおして、市民・事業所に低公害車のメリット等の情報提供をしていきます。
- ◆市役所において、低公害車を率先して導入することにより啓発します。
- ◆「うちエコ診断」や「省エネ診断」を実施する等効果の「見える化」を推進していきます。【再掲】

取組み5 自転車や公共交通機関等の利用

市民

◆家庭での温室効果ガスの排出量のうち、自動車の占める割合は多くなっています。できるだけ使用を控え、自転車や公共交通機関を利用するようにしましょう。

事業者

◆車からの温室効果ガスの排出量は、増加傾向にあります。同一経路の荷物の運搬は、1台で行ったり、社用車の使用を控えたりする等、できるだけ効率の良い使用に努めましょう。

行政

◆公共交通機関や自転車の利用がしやすいまちづくりの推進に努めます。
◆電動自転車の導入を促進する取組みを検討します。
◆市民や観光客にパークアンドライド等の情報提供をさらに進めていきます。



取組み6 太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの導入

市民

◆太陽光発電システム等再生可能エネルギーの利用は、電気やガスを利用する際に排出されるCO₂を減らすことができます。建物の新築等の際には補助金を利用して導入を検討しましょう。

事業者

◆太陽光発電システム等再生可能エネルギーの利用は、電気やガスを利用する際に排出されるCO₂を減らすことができます。建物の新築等の際には補助金を利用して導入を検討しましょう。

行政

◆家庭用太陽光発電システム設置助成を引き続き行います。
◆公共施設の建設や増改築時に設置する等率先した導入を行うとともに、小水力発電等新たなエネルギーの利用検討を行います。



取組み7 緑化の推進と森林、農地の保全

市民

◆家の壁面、敷地内等にグリーンカーテンを作ること、夏は日かげができ、冷房の使用を控えられます。また緑化により、住みやすさや、景観にも配慮した良好な環境を創出しましょう。
◆長岡京市の財産である西山の保全に積極的に取り組みましょう。

事業者

◆緑を増やすことで、ヒートアイランド現象の緩和につながります。建物屋上や壁面、敷地内等を緑化し、景観にも配慮した良好な環境を創出しましょう。
◆長岡京市の財産ともいえる西山の保全に積極的に取り組みましょう。

団体等

◆グリーンカーテンの推進等、学校や地域と連携して、市内の緑を増やしましょう。
◆「西山森林整備構想」に基づき、行政等と協力して森林や竹林の保全に取り組みましょう。

行政

◆市内の緑化促進のため、生け垣等設置費助成により緑化を促進します。
◆地下水かん養や雨水の有効利用等のために、市民に対し、雨水貯留施設設置補助を引き続き行います。
◆今まで手入れされていなかった西山の森林や竹林を整備し、温室効果ガスの吸収量の増大や、水源かん養機能の回復に努めます。
◆「西山百年の森」計画の策定による、西山の今後の活用を検討します。
◆市街区域内の公園緑地等の確保や生産緑地等農地の保全、その他公共施設等の緑化で、市民の目に触れる緑を増やすことにより啓発します。



取組み8 環境意識の向上

市民

- ◆環境に配慮した取組みを継続して行っていくためにも、環境ボランティアに参加したり、講演会に参加したりする等して自然やエコについて学び、意識を高めていきましょう。
- ◆「うちエコ診断」や「省エネ診断」の受診や「環境家計簿」の利用をとおして、日ごろのエネルギーの使用量を見直すとともに、エネルギーの節約について考えてみましょう。

事業者

- ◆日ごろから、省エネ行動を啓発する等、社内報等により社員の環境意識の向上に努めましょう。
- ◆環境イベント等への参加をとおして、社員や地域の環境意識の向上に貢献しましょう。

団体等

- ◆環境教育や環境イベント等を積極的に行い、市民の環境意識の向上に貢献しましょう。
- ◆環境講演会や環境セミナー等への参加により、自らの意識を高めるよう努めましょう。
- ◆「西山森林整備構想」に基づき、行政や企業等と協力して森林や竹林の保全に取組みましょう。

行政

- ◆西山ファミリー環境探検隊等体験学習の場を提供していきます。
- ◆継続的または先進的な環境の取組みについて、“環境の都”賞を顕彰し公表します。
- ◆「うちエコ診断」や「省エネ診断」の普及拡大に努め、市民の継続的な温室効果ガス削減のバックアップを行います。
- ◆広報紙・ホームページ等により、環境情報のこまめな提供を行い、啓発します。
- ◆緑のサポーターをはじめ、環境団体の自立的な運営のために、支援を行っていきます。
- ◆環境イベントや講演会等の開催により、市民の環境意識の高揚に努めます。
- ◆出前ミーティング等により、市の施策に関する情報提供を行う等、市民の理解を深めるよう取組みます。
- ◆小中学校等での環境学習を今後も積極的に行っていきます。
- ◆西山森林ボランティア等により、市民、企業、団体と協働し、環境意識の共有を図っていきます。
- ◆環境に関する研修や講座等を行い、人材育成を行う仕組みづくりを検討します



家庭でできる地球温暖化防止の取組み10項目

チェック	取組内容		節減量/世帯/年	
			(kg-CO ₂)	(円)
<input type="checkbox"/>	1	冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する	31.1	1,840
<input type="checkbox"/>	2	冷房・暖房機器の使用時間を以前より減らす	22.2	1,310
<input type="checkbox"/>	3	電気こたつの布団は厚く、設定温度を低くする	30.4	1,790
<input type="checkbox"/>	4	テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす	5.6	330
<input type="checkbox"/>	5	温水便座のフタを閉めるなど使用を適正にする	27.9	1,650
<input type="checkbox"/>	6	冷蔵庫にものを詰めすぎないなど使用を適正にする	62.4	3,670
<input type="checkbox"/>	7	冷野菜の下ごしらえに電子レンジを活用する	13.4	1,010
<input type="checkbox"/>	8	シャワーを1日1分家族全員が減らす	29.1	2,000
<input type="checkbox"/>	9	発進時はふんわりアクセルを行う	194.0	10,030
<input type="checkbox"/>	10	5秒以上の停止のとき、アイドリングストップを行なう	40.2	2,080
合計			456.3	25,710

できることから始めてみよう。



市のホームページのアドレス

<http://www.city.nagaokakyo.kyoto.jp/>

※計画本編は長岡京市ホームページでご覧いただけます。



長岡京市地球温暖化対策実行計画 概要版

長岡京市環境経済部環境政策監

〒617-8501 京都府長岡京市開田1丁目1番1号

TEL 075-951-2121(代) FAX 075-951-5410